

米国の金融政策についての
の思惑が世界経済を揺るが
せている。米国の景気回復
が進んでいるような指標が
出てくると、量的緩和の終
了が近いとの予想から、株
価は低下する。厳しい引き
締めが株価を下げると予想
されるからだ。一方で、景
気の回復が遅れるような指
標が出ると、今度は株価が
上昇する。金融引き締め
の時期が遅れると予想され
るからだ。

景気と株価が逆の方向に
動く。これではアベコベノ
ミクスだと、冗談を言っ
ていた人がいた。日本はアベ
ノミクスだが、米国はアベ
コベノミクスという訳だ。
米国経済でこうしたお



伊藤元重の

ニュースな見方

大胆な金融緩和政策

しなことが起きるのは、市
場の関心が金融政策の動向
に集まっているからだ。巨
大な規模の量的緩和政策を
続けてきた米連邦準備理事
会(FRB)

が出口戦略を
探るといっ
とは、それだ

けの大きな政策変更であ
り、市場の攪乱(かくらん)
要因となる。

こうした事態を予想し
て、一部の専門家は量的緩
和政策を批判してきた。そ
の代表的な存在がスタンフ
ード大学のジョン・テイ
ラー教授だ。テイラー・ル

に基づくべきである、とい
うのがテイラー教授の主張
である。

変更には神経質にならな
すむ。それだけ市場も安定
化するというものだ。

安定より、まずデフレ脱却

テイラー・ルールとは、
物価の動きや実質国内総生
産(GDP)の動きに応じ
て、政策金利を調整すると
いう金融政策のルールであ
る。金融政策の運営にそれ
なりの影響を与えていると
言われている。金融政策が
テイラー・ルールのような
ルールに基づいて動くこと
で、その出口で市場があ
る程度不安定化することは
仕方がない。当面市場は不安
定になるかもしれないが、出
る。大胆な裁量性をもった量的
緩和政策があったからだ。
大胆な政策だからこそ、危
機に対応することができた
のだ。今はただ、デフレ脱却
の動きが一刻も早く経済全
体に広がっていくのを願っ
たい。

たしかに平時であれば、
攪乱要因となるのだ。
テイラー教授の指摘はあた
り、その出口で市場があ
る程度不安定化することは
仕方がない。当面市場は不安
定になるかもしれないが、出
る。大胆な裁量性をもった量的
緩和政策があったからだ。
大胆な政策だからこそ、危
機に対応することができた
のだ。今はただ、デフレ脱却
の動きが一刻も早く経済全
体に広がっていくのを願っ
たい。

(東大大学院

経済学研究科教授)

*この記事は日本経済新聞社の許諾を得て転載しています。